

# 令和5年度 本部事務局事業報告

## 1 事業の概要

当福祉会は、昭和50年の設立以来、朝霞市、志木市、和光市の広域的な社会福祉事業の主たる担い手として、安心・安全で多様な福祉サービスを展開し、地域福祉の向上に努めてきました。令和5年度においても、障害児・者の直営2施設である「みつばすみれ学園」、「すずらん」の運営をはじめ、和光市から「ほんちょう保育園」、「にいくら保育園」の運営を受託するとともに、朝霞市の指定管理者として「特別養護老人ホーム朝光苑」、受託事業として「地域包括支援センター朝光苑」の運営を行いました。

### 福祉会を取り巻く環境変化に対応

（ 役員の任期満了に伴う改選 ）

令和5年6月に、役員（理事・監事）の任期満了に伴う改選を行いました。関係する制度に留意し適切な選任手続きを行いました。

また、評議員についても、退任による後任者の選任が計2人ありましたが、いずれも遅滞なく手続きを進めることができました。

（ 職員採用と人材育成 ）

職員採用においては、①求人情報はできるだけ早期に情報公開し、適切に情報を更新すること、②就職相談会のような求職者と直に会える機会には積極的に参加すること、③施設見学希望者を積極的に受け入れることなどに引き続き努めることで、令和6年4月1日付の新卒者2人を含め、計5人を採用することができました。また、新卒者に対しては不安や疑問点の解消や新卒者間及び先輩職員との交流を目的として、昨年度に引き続き懇談会を開催しました。

人材育成においては、令和5年4月に採用した新卒者（第2新卒者含む）5人に対し、従来の研修に加え、年度末にフォローアップ研修を取り入れるなど、階層別の研修計画を軸として、引き続き法人内外の研修受講を通じた人材育成に努めました。また、それぞれの職場での行き届いたフォローもあり、5人全員が2年目を迎えることができました。

（ 当法人が提供している施設サービスの見える化 ）

引き続きインスタグラムを活用し、施設の日常や利用者の取り組み等を発信することで、利用希望者や求職者に対し、各施設の特徴と雰囲気は伝わるよう努めました。みつばすみれ学園とほんちょう保育園では、法人アカウントから独立した施設独自のアカウントを運用することで更新の頻度が増え、より日常的な投稿となったことで、利用希望者などからの反響が増えました。また、法人ホームページの令和6年度中の改修に向け、プロジェクトチームを立ち上げ、改修内容の検討を開始しました。

（ 障害者雇用における法定雇用率の達成 ）

法令により3人以上の障害者雇用が求められていますが、1人分の欠員が令和4年2月以降継続しており、令和5年度も充足させることはできませんでした。障害者雇用に向けた課題として、担当していただく業務の選別と職場環境の整備があり、これらの課題は令和6年度においても引き続き検討していきます。

## 2 理事会等の開催

### (1) 理事会

開催:年6回	開催日	決議事項
第170回	4月1日	第1号議案 理事長の選定について 第2号議案 評議員の候補者案と評議員選任・解任委員会の開催について
第171回	5月26日	第1号議案 令和4年度決算の承認について 第2号議案 定時評議員会の開催について
第172回	6月12日	第1号議案 理事長の選定について 第2号議案 みつばすみれ学園運営規程の一部改正について
第173回	9月29日	第1号議案 みつばすみれ学園運営規程の一部改正について 第2号議案 すずらん運営規程の一部改正について 第3号議案 朝光苑デイサービスセンター運営規程の一部改正について 第4号議案 地域包括支援センター朝光苑運営規程の一部改正について 第5号議案 朝光苑防犯カメラの設置に係る契約締結について 第6号議案 朝光苑デイサービスセンター送迎車の入替に係る契約締結について 第7号議案 朝光苑パソコンファイルサーバー機の入替に係る契約締結について 第8号議案 朝光苑照明器具のLED化に係る契約締結について
第174回	12月26日	第1号議案 みつばすみれ学園における定員変更及び保育所等訪問支援事業の実施について 第2号議案 令和5年度補正予算について 第3号議案 職員紹介手当支給規程の制定について 第4号議案 就業規程の一部改正について 第5号議案 臨時職員等取扱規程の一部改正について
第175回	3月27日	第1号議案 経理規程の一部改正について 第2号議案 臨時職員等取扱規程の一部改正について 第3号議案 個人情報保護規程の一部改正について 第4号議案 みつばすみれ学園運営規程の一部改正について 第5号議案 みつばすみれ学園障害児等計画相談支援センター運営

		<p>規程の一部改正について</p> <p>第6号議案 すずらん運営規程の一部改正について</p> <p>第7号議案 朝光苑運営規程等の一部改正について</p> <p>第8号議案 令和5年度補正予算について</p> <p>第9号議案 令和6年度事業計画について</p> <p>第10号議案 令和6年度予算について</p> <p>第11号議案 みつばすみれ学園・すずらん給食業務委託に係る契約締結について</p> <p>第12号議案 みつばすみれ学園・すずらん運行管理業務及び日常清掃業務委託に係る契約締結について</p> <p>第13号議案 朝光苑紙おむつの購入に係る契約締結について</p> <p>第14号議案 みつばすみれ学園・すずらん非常用発電機更新工事に係る契約締結について</p> <p>第15号議案 役員賠償保険の継続加入について</p>
--	--	---

## (2) 評議員会

開催:年1回	開催日	決議事項
定時評議員会	6月12日	<p>第1号議案 令和4年度決算の承認について</p> <p>第2号議案 役員（理事・監事）の選任について</p>

## (3) 評議員選任・解任委員会

開催:年1回	開催日	決議事項
第1回	4月1日	第1号議案 評議員の選任について

## 3 監事による監査

開催回数	開催日	内容
3回	5月19日	決算監査 対象：全施設
	12月26日	中間監査 対象：本部事務局、みつばすみれ学園、すずらん
	2月7日	中間監査 対象：ほんちょう保育園、にいくら保育園、朝光苑

## 4 複合施設の避難訓練

### 令和5年度 複合施設避難訓練の実績

避難訓練の開始時間と避難場所は、全て非公表として実施しました。

日時	開始時間	訓練別			想定	1次避難場所		訓練内容	みつばすみれ学園 単独の消火訓練	
		地震	火災	水害		2次避難場所				
4月 21日(金)	13:30	○			震度4	室内待機		安全確保、状況報告 火気確認、検索	○	
5月 11日(木)	13:27		○		1階 厨房から出火	裏駐車場 -		初期消火、通報、避難誘導、人数及び状況報告 火災受信機作動、非常持ち出し、検索	/	
6月 20日(火)	10:30	○			震度6強 談話コーナー天井崩落	裏駐車場 -		安全確保、避難誘導、人数及び状況報告 火気確認、検索、災害対策本部設置、車椅子利用者避難	○	
6月 30日(金)	15:30	救急隊によるAED、心肺蘇生法講習							消防署のAED、訓練の人形を使用 (通常の避難訓練とは別日で実施)	/
7月 10日(月)	13:27		○ 消防立会		1階 厨房から出火	裏駐車場 -		初期消火、通報、避難誘導、人数及び状況報告 火災受信機作動、非常持ち出し、検索、みつばでは靴下避難	/	
8月 24日(木)	13:30			○	浸水 0.5~1メートル	垂直避難		情報収集、避難誘導、人数及び状況報告 物品搬出、止水板の設置	○	
9月 11日(月)	13:27		○		2階 更衣室でトラッキング	裏駐車場 -		初期消火、通報、避難誘導、人数及び状況報告 火災受信機作動、非常持ち出し、検索、応急処置、車椅子利用者非難	/	
9月 11日(月)	15:30	消防署員による消火器訓練							消防署の水消火器を使用した初期消火の訓練	/
10月 17日(火)	13:30	○			震度6強 厨房からのガス漏れ	裏駐車場 -		安全確保、避難誘導、人数及び状況報告 火気確認、検索、災害対策本部設置	○	
11月 30日(木)	10:27		○		出火場所非公表 厨房から出火	裏駐車場 -		初期消火、通報、避難誘導、人数及び状況報告 火災受信機作動、非常持ち出し、検索、応急処置	/	
12月 4日(月)	13:30	○			震度4	室内待機		安全確保、状況報告 火気確認、検索	○	
1月 26日(金)	13:27		○		2階 食堂テラスの洗濯機でトラッキング	- -		初期消火で消火、通報、安全確保、人数及び状況報告 火災受信機作動、非常持ち出し、検索、応急処置	/	
2月 20日(火)	13:30	○			震度6強 厨房からガス漏れ	裏駐車場 -		安全確保、避難誘導、人数及び状況報告 火気確認、検索、災害対策本部設置	○	
3月 7日(木)	10:27		○		1階 厨房から出火	裏駐車場 -		初期消火、通報、避難誘導、人数及び状況報告 火災受信機作動、非常持ち出し、検索、応急処置	/	

※ 消防署員の立ち会い → 7/10(月)

※ すずらんでは令和2年度から訓練内容に車椅子避難を盛り込んでいる  
訓練において車椅子利用者の全員避難の実施を検討中

(複合施設の避難指定場所)

1次避難場所 → 正面玄関前 又は 裏駐車場

2次避難場所 → 高橋家(奥の)

## 5 自主研修制度の利用状況（令和5年度中の自主研修補助金制度利用者 3人）

研修等	制度利用職員		人数
	所属	職種	
主任介護支援専門員研修	朝光苑（包括）	介護支援専門員	各1人
精神保健福祉士短期養成課程	すずらん	生活支援員	
介護職員初任者研修	にいくら保育園	栄養士	

## 6 各種試験

### （1）職員採用試験（令和5年度中の採用決定者 5人）

職種	試験内容	試験日	試験結果（入職日）
看護師	面接	令和5年4月5日	応募者：1人 採用者：1人（令和5年5月1日）
保育士	面接	令和5年9月6日	応募者：1人 採用者：1人（令和5年10月1日）
		令和5年10月12日	応募者：2人 採用者：1人（令和6年4月1日）
		令和5年11月20日	応募者：2人 採用者：1人（令和6年4月1日）
介護職員	面接	令和5年11月6日	応募者：1人 採用者：0人
生活支援員	面接	令和6年2月1日	応募者：3人 採用者：1人（令和6年4月1日）

### （2）職員昇任審査・試験

項目（方式）	内容	審査日・試験日	審査・試験の結果
主査級昇任試験（応募）	勤務評価 面接・論文	令和6年1月17日	対象者：5人 合格者：4人
主幹級昇任審査（推薦）	勤務評価 審査会	令和6年2月13日	対象者：4人 合格者：2人

7 職員数（令和6年3月31日現在／単位：人）

（ ）は常勤換算の人数

施設名	理事長 施設長		事務員		保育士 児童指導員 生活支援員 介護職員 (補助含)		看護職員 機能訓練指導員		栄養士	児童発達支援管理 責任者 ケアマネ管理責任者 相談支援専門員 介護支援専門員 生活相談員 社会福祉士 運転手 等			合 計	
	正規	パート	正規	パート	正規	パート	正規	パート		正規	パート	正規	パート	
本部事務局	1	2	1(0.9)	—	—	—	—	—	—	—	—	3	1(0.9)	
みつばすみれ学園	1	1	—	4	13(8.9)	1	1(0.8)	—	5	5(3.4)	12	19(13.1)		
すずらん	1	1	—	10	17(11.9)	2	1(1.0)	—	1	—	15	18(12.9)		
ほんちよう保育園	1	1	—	10	20(14.4)	1	1(0.8)	※2	—	—	13	21(15.2)		
にいくら保育園	1	※1	1(0.5)	14	18(13.2)	1	1(0.8)	1	—	—	17	20(14.5)		
朝光苑	1	4	2(2.0)	25	13(11.2)	7	1(1.0)	1	11	2(1.1)	49	18(15.3)		
合 計	6	9	4(3.4)	63	81(59.6)	12	5(4.4)	2	17	7(4.5)	109	97(71.9)		

※1 ほんちよう保育園と兼務

※2 にいくら保育園と兼務

# 令和5年度 みつばすみれ学園事業報告

## 1 事業の概要

### 利用状況

施設利用者の多様なニーズへの対応に努めましたが、年間の契約児童数は令和4年度の89人に対し75人でした。定員に対する利用率は昨年度60.4%に対し54.7%でした。利用児の構成は、幼稚園、保育園を利用しながら学園を利用する（併行利用）児童が半数以上を占める状況が続いています。

ここ数年、利用人数の減少や利用率の低下が大きな課題となっています。空き状況の周知やインスタグラムなどを使ったPR活動、園庭開放などアピールに努め、契約者の獲得を図りましたが、利用率の回復にはつながらず、令和6年度より利用実態に合わせた定員に変更することとしました。一方で医療的ケアを必要とする子は、訪問支援よりも集団への参加機会を望むケースが多くなっています。出来るだけ受け入れを行いました。看護師1名の体制が続いている間は受け入れ実績が加算に反映されない状況でした。3月にパート職員を採用し、加算実績に繋がりました。令和6年度は看護師の配置に合わせた、積極的な受け入れを行ないます。

低年齢児クラス（0～2歳）を利用した児童が生活する力をつけ、保育園や幼稚園に移行していくケースは多く、療育の効果が上がることは嬉しい反面、利用人数の減少につながる状況になっています。

### 専門性の高いサービスの提供

保育士・児童指導員による集団療育に加え、OT（作業療法士）、ST（言語聴覚士）、PT（理学療法士）等専門職による個別療育など幅広い支援を行いました。

コロナ感染症が5類に移行したことに伴い、交流保育や園外保育等を再開し、社会体験の機会を支援に取り入れ、児童の活動の幅を広げました。

研修については、オンライン研修も活用し、多くの職員が研修機会を得るよう努め、虐待防止研修、階層別研修の他、支援の知識や技術の習得などの研修を受講しました。また、内部研修としてクラスごとにテーマを決め、ケース検討を行いました。個々の児童の課題について考察を深めることができ、職員の良い学びの機会となりました。保護者向けには、歯科医師による勉強会の開催や、ペアレントトレーニングの基礎内容の講座などを行いました。

また、職員及び保護者による児童発達支援の自己評価を行い、運営・療育について現状の課題を明らかにし、改善に取り組みました。

### 地域支援の強化

「みつばすみれ学園障害児等計画相談支援センター」との連携はこれまで通り行い、スムーズな事業所利用を進めてきました。

近年、併行利用児数は増加傾向で、療育から移行して併行利用になるケースと、幼稚園・保育所で療育の必要性に気が付いて併行利用を始めるケースに分かれます。後者のケースでは保護者の気持ちへのフォローや、児童の自己肯定感の面などで丁寧な支援が必要な場合があります。多様なニーズに応えられる支援の一つとして令和6年度より「保育所等訪問支援事業」を開設し、通園以外にも適切な支援を受けられる機会を提供できるよう努めます。

県からの委託事業「障害児等療育支援事業」は継続して実施してきました。令和5年度は積極的に訪問事業を実施し、保育所や幼稚園の支援に努めました。

また、「発達障害地域療育支援センター事業（南西部地域療育支援センター）」との連携を通して、専門職による支援の提供を行い、「就学に向けて気になること」をテーマにした保護者サロンの開催や、保護者の困りごとへの回答をまとめた新聞の発行などを行いました。

## 2 主な事業の実施状況

### (1) 主な年間事業

月例事業	誕生会、地震・火災避難訓練、保護者と施設間連絡会、交流保育、身体測定、こころの発達相談（月1回）整形外科健診（月1回）、内科（隔月）、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の指導（週1回・必要に応じ）
5月	クラス懇談会、児童検便（腸内細菌検査）、児童検尿、歯科検診
7月	七夕、夏祭り
8月	すいか割り（土曜開所）
9月	土曜開所
10月	ハロウィンごっこ（土曜開所）
11月	運動会（宗岡第三小学校体育館） クラス懇談会、児童検便（腸内細菌検査）、児童検尿、歯科検診
12月	クリスマス会
1月	もちつきごっこ（土曜開所）
2月	豆まき、発表会
3月	思い出遠足、お別れ会、卒園式

### (2) 相談・会議等

相談等	①療育相談／来園・電話相談、個別・訪問・集団療育、健診、機能訓練 ②個別面談、クラス懇談会、保護者と施設間連絡会
会議等	①ケース検討会議、カリキュラム検討会議、クラス会議、職員会議 ②通園バス運行会議、給食検討会議
他機関等との交流	①朝霞・志木・和光市の関係会議（要保護児童対策地域協議会、育成保育関連会議、自立支援協議会、介護給付費等支給審査会、障害者プラン推進委員会等）へ出席 ②和光特別支援学校評議員 ③見学・実習の受入れ、中学生職業体験 ④地域の作品展等（チャレンジ作品展/和光市中央公民館）（福祉センター祭り/志木市総合福祉センター） ⑤施設便りの発行・配布（月1回）

## 3 利用状況

### 児童在籍状況（契約児童）

（月初在籍数：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	12月	12月	3月	合計
朝霞市	25	26	29	30	30	31	32	33	37	37	38	38	386
志木市	19	20	20	20	20	21	21	20	21	21	23	25	251
和光市	5	5	5	5	6	6	6	7	9	8	9	12	83
合計	49	51	54	55	56	58	59	60	67	66	70	75	720
入園者数	2	2	4	1	1	2	1	2	7	1	5	5	33
退園者数	0	0	1	0	0	0	0	1	1	2	1	1	7

※利用率 54.7%



#### 4 外部協力・援助等

##### (1) 寄附一覧（現金・物品）

—敬称略—

6月30日	藤宮工務店	250,000円
7月10日	須田 徳栄	3,000円
12月28日	栗原 友介	500,196円
合計	3件	753,196円
12月12日	志木市日赤奉仕団	メルちゃん人形 メルちゃんセット
合計	1件	

##### (2) ボランティア受入れ

件名	協力者・団体	人数
製作（通年）	個人（2人）	延べ（58人）
福祉学園（6日間）	志木市社会福祉協 議会	延べ（10人）
夏祭り	個人	1人
運動会	ホンダ労組	10人
	個人	4人

##### (3) 見学等受入れと職員派遣

	件名	実施日数	機関	延べ人数
受入れ	卒園・退園児の引継ぎと相談	6日	3機関	7人
	学園療育についての見学と体験	22日	24機関	53人
	次年度就学児・移行児の様子観察	3日	2機関	4人
	学園見学（入園希望者、電話相談など）	94日	—	94人
派遣	育成保育対象児の様子観察	6日	6機関	6人
	フォローグループの援助	12日	1機関	12人
	学園利用児の様子観察・情報交換	13日	10機関	17人
	巡回相談（学園利用児以外）	63日	27機関	63人
	研修会講師	1日	1機関	1人

##### (4) 実習受入れ

中学生職業体験	3日間	1校	延べ3人	朝霞第1中学校
保育士養成実習	延べ169日	14学校	延べ193人	淑徳短期大学、淑徳大学、星美学園大学、 東京家政短期大学、東京家政大学、草苑保 育専門学校、大原こども専門学校、十文字 学園女子大学、川口短期大学、秋草短期大 学、埼玉学園大学、東京福祉大学、埼玉 保育医療福祉製菓調理専門学校、彰栄保育 福祉専門学校
教員介護等体験学習	延べ12日	2校	延べ12人	聖徳大学、芝浦工業大学

### (5) 研修実績

区分	内 容
外部研修	ビジネスマナー（1人）強度行動障害基礎研修（1人） 県社協キャリアアップ研修（管理者、初任者、チームリーダー 各1人） 発達障害の基礎理解（連続講座4回・1人）ペアレントトレーニング（1人） ハラスメント防止、虐待防止、感染症対策（各1人） 医療的ケア児支援者研修（全4回・1人）BCP作成のポイント（1人） 多様な発達のこども支援（全7回・1人）
内部研修	溺水防止研修、感染症対応研修（吐物処理方法等）、食事介助のポイント 排泄自立への支援、虐待防止対策、AED講習、研修報告（強度行動障害）等 クラス別事例検討報告会（全4例）

## 5 障害児等療育支援事業の実績（療育相談利用状況）

【職種】児童指導員、保育士

【事業内容】在宅障害児（者）の地域生活支援。療育相談（電話相談／来園相談）、訪問療育、幼稚園・保育所等との相互支援等（埼玉县委託事業）

（延べ回数）

	①在宅支援 訪問療育等指導事業		②在宅支援 外来療育等指導事業			③施設支援 一般指導 事業	①～③ の合計	関係機関 との連携
	巡回相談	訪問健康診査	発達相談	療 育	検 診			
朝霞市	0	0	27	3	0	59	89	5
志木市	0	0	16	25	3	27	71	8
和光市	2	0	17	7	0	31	57	6
新座市	0	0	0	0	0	3	3	0
その他	0	0	2	0	0	10	12	1
合計	2	0	62	35	3	130	232	20

## 6 南西部地域療育センターの実績

【職種】臨床心理士、言語聴覚士、作業療法士

【事業内容】専門職が個別療育やご家族への支援を行う埼玉県からの委託事業（地域療育センター事業）。未就学児は児童発達支援給付費で対応。就学児は委託費で対応。

### 実績件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
給付費対象	51	44	54	53	55	58	59	58	66	72	69	77	716
委託費対象	22	28	28	26	27	19	25	24	20	24	16	20	279
合計	73	72	82	79	82	77	84	82	86	96	85	97	995

## 7 みつばすみれ学園障害児等計画相談支援センターの実績

【職種】 相談支援専門員

【事業内容】 障害者（児）等への相談やサービス利用計画の作成、モニタリング等の支援

### 対応件数（初回アセスメント件数）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
新規計画 請求	特	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	22
	児	5	4	0	0	3	2	2	2	0	0	0	2	20	
更新計画 案請求	特	2	3	2	2	6	5	4	2	3	6	0	3	38	378
	児	18	23	29	21	27	22	41	26	45	20	18	50	340	
モニタリ ング請求	特	3	9	11	7	7	2	2	6	7	10	3	6	73	561
	児	40	51	72	49	34	37	26	35	45	30	34	35	488	
合 計		70	90	114	79	77	68	75	71	100	66	55	96	961	

特：特定相談支援

児：障害児相談支援

# 令和5年度 すずらん事業報告

## 1 事業の概要

### 利用ニーズへの対応

令和5年度中に4名が入所、1名が退所となり、年度末の利用契約数は54名となりました。今年度は、令和4年度に複数名が退所されたため、新たな利用者を受け入れる年となりました。

医療的ケア対象者及び、重度者への対応方法については、医療的ケア委員会や個々の支援計画作成時、随時の検討を行い、ケア方法を確認し支援体制の充実を図りました。

年度途中には、就労支援事業所を辞められた方や他の生活介護事業所に馴染めず、行き場のない方の受け入れを行いました。新規入所された方々へは、その障害特性を把握し、持っている力を引き出す支援を行ったことで安定した通所が継続出来ています。

利用者のニーズを汲むべく利用者の状況及び家庭背景を鑑み、臨時の個別送迎等を行い、利用促進に繋がる必要な支援の取り組みを継続実施してきました。また、送迎時間変更や利用時間の変更があった方へも柔軟に対応を行いました。

### 支援計画策定と介護、相談体制の充実

個別支援計画書の作成、交付については、感染予防の観点から書面中心の確認が続きましたが、対面で確認する機会が少しずつ増えています。保護者会についても実際に会って意思疎通を図ることが大切であることから、令和4年度に引き続き対面で開催しました。

担当の相談支援専門員との連携も密に行い、情報の共有化や多職種で連携した支援を心掛けています。また、利用者が併行利用している近隣の生活介護事業所と支援方法について情報交換することで、支援方法の確認を行い、今後の方向性についても役立てることが出来ました。

職員が支援力を向上させるため、外部研修、内部研修にも力を入れました。外部研修は現在主流となっているオンライン研修に参加する機会が増えました。内部研修では障害特性や医療知識を学ぶ研修を例年以上に取り入れて支援技術力向上に努めました。

### 安定した施設運営

今年度も感染症の状況に配慮しながら、利用者にも所内ではマスクの着用等を促し、感染予防を継続して施設運営を行いました。

主要行事については、今まで自粛していた保護者やボランティアを受け入れての行事を再開しました。また、車を使用しての外出活動も再開しています。外部を交えて行事開催したことや外出行事を再開したことで、ここ数年よりも施設内に活気が感じられています。

今年度も感染症の影響は見られましたが、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行したこともあり、昨年度までに比べるとその影響は少ない状態になりました。年間利用率は95.4%となり前年度からは1.5%増加の結果となりました。介護給付収入は目標には届かない状況となりましたが、年度途中の10月、11月に1名ずつ新規入所者を受け入れたこともあり、下半期の利用率は上昇傾向となりました。

## 2 主な事業の実施状況

### (1) 主な年間事業

月例事業	誕生会(毎月末に各グループ毎に実施)、製作品販売、地震／火災避難訓練、身体測定、嘱託医診察等(内科、精神科、整形外科、理学療法、作業療法)、音楽療法(全6回実施)
4月	出発式、歯科検診
7月	七夕、すずらん夏祭り(チアボランティアグループ、保護者参加)
9月	定期健康診断(車いす利用者胸ロントゲン)
10月	スポーツレクリエーション(保護者参加、グループ毎に実施) ハロウィン(グループ毎に実施)、定期健康診断(胸ロントゲン、血液検査を含む)
11月	すずらんフェスティバル(活動班毎の保護者参観、班毎の活動班パネル紹介展示、製作品販売)、検便
12月	クリスマス忘年会(両グループ合同で実施)
1月	初詣
2月	節分
3月	年度終了式

### (2) 会議等

施設内会議	①職員会議(毎月) ②給食会議(年3回) ③通所バス運行会議(毎月) ④ケース支援・打ち合わせ会議(毎日) ⑤個別支援計画会議(随時) ⑥支援グループ会議(年2回) ⑦保護者と施設間連絡会議(年2回) ⑧感染症防止委員会/衛生委員会(年12回) ⑨虐待防止/身体拘束廃止・適正化委員会(年4回) ⑩医療的ケア委員会(年6回) ⑪事故防止委員会(年6回)
関係機関会議	①4市医療職ネットワーク会議(年1回) ②相談支援事業所との適宜連絡(随時) ③和光南特別支援学校 福祉事業所 合同説明会(年1回) ④和光南・和光特別支援学校 進路連絡協議会(年2回) ⑤障がい者通所施設連絡会(年1回)

## 3 利用状況

### (1) 市別在籍状況(契約利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R4年1月	2月	3月	合計
朝霞市	18	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	238
志木市	23	23	23	23	23	23	23	24	24	24	24	24	281
和光市	10	10	10	10	10	10	10	10	11	10	10	10	121
合計	51	53	53	53	53	53	53	54	55	54	54	54	640
入所者数	2	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	4
退所者数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1

※利用率 95.4%

## (2) 障害程度別内訳

(R5.3月末)

	㉠	A	B	C	判定無し	計
療育手帳(知的判定)	43	6	2	1	2	54
精神保健手帳の併所持	0	0	1	0	1	2
身体障害者手帳の併所持	24	0	1	1	2	28

	1種1級	1種2級	2種1級	2種4級	2種5級	計
身体障害 等級内訳	17	8	1	1	1	28

※車椅子使用者19人

	1級	2級	3級	計
精神障害 等級内訳	2	0	0	2

## 4 外部協力・援助等一覧

## (1) 寄附一覧(現金)

—敬称略—

期 日	寄 附 者	金 額	備 考
6/30	藤宮工務店	250,000円	
12/15	栗原友介(嘱託医報酬分)	250,098円	
合 計	2件	500,098円	

## (2) 地域との交流

通 年	新河岸川「川の国応援団美化活動団体」清掃活動実施
10月	北足立郡市町人権フェスティバル 製作品販売
10月	志木市基幹福祉相談センター主催 障がい児・者通所施設活動紹介 すずらん、活動班パネル紹介展示
12月	和光市主催 和光市チャレンジド団体合同展示会 すずらん、活動班パネル紹介展示
3月	志木市社会福祉協議会主催 総合福祉センター祭り すずらん、活動班パネル紹介展示

## (3) 実習生等受け入れ

## ア 特別支援学校学生

特別支援学校実習	延べ 33日	3校	延べ 10人	特別支援学校(和光南、和光、所沢おおぞら)

## イ 教員

特別支援学校初任者研修	延べ 2日	1校	延べ 8人	和光特別支援学校教員

## ウ 中学生

社会体験チャレンジ授業	延べ 3日	1校	延べ 3人	朝霞第一中学校

## エ 大学生 介護等体験(教員免許取得実習)

介護等体験実習	延べ10日	2輩	延べ2人	法政大学、東京国際大学
<b>オ 短期大学生</b>				
施設実習(保育実習)	延べ11日	1輩	延べ1人	秋草短期大学

(4) ボランティア受入れ

畑指導	個人(1人)	延べ37人	製作品作り補助	個人(1人)	延べ10人
-----	--------	-------	---------	--------	-------

(5) その他

年16回	朝霞市美容師組合ボランティアの会による美容整髪(希望者対象：有料)				
------	-----------------------------------	--	--	--	--

(6) 職員研修実績

区分	内 容	参加者
外部研修	8/23、30 令和5年度中堅職員キャリアパス研修(WEB)	1名
	9/19、22 人材育成担当者研修(WEB)	1名
	9/19 福祉現場で必要な法律の基礎知識演習	1名
	9/29 第50回国際福祉機器展	1名
	10/04、11 令和5年度初任者キャリアパス研修(WEB)	1名
	10/18、25 令和5年度チームリーダーキャリアパス研修(WEB)	1名
	2/13 クレーム対応研修(WEB)	1名
内部研修	4/21 自閉症の強度行動障がい 事例と理解	15名
	4/25 個別支援計画の考え方とその必要性	16名
	4/27 身体拘束・虐待防止研修(異動職員)	1名
	8/03 感染症対策研修	16名
	9/13 自閉症の強度行動障がい 事例と理解	15名
	1/11 支援とは～支援と介護の違いを考える	17名
	1/17 虐待防止研修①	16名
	1/22 虐待防止研修②	17名
	2/07 虐待防止研修③	3名
	3/13 支援を考える～ICFについて学んでみよう!	18名

# 令和5年度 和光市ほんちょう保育園事業報告

## 1 事業の概要

### 保育内容・障害児保育の推進

令和5年度は在籍児童数83名でスタートし、途中の入退園があり年度末は85名でした。年間利用率は77.3%でした。新型コロナウイルス感染症の年間罹患数は8名となり、5月から5類移行となりましたが、継続的に保育室やおもちゃ類の消毒、こまめな換気を行い、状況に合わせて環境を整えました。

保育内容については、一人ひとりの子どもの気持ちを尊重し、主体的に興味関心を広げて活動することが出来るように環境を整え、日々の保育を振り返り、職員間で話し合いを重ね、保育の充実を図りました。乳児保育・3歳未満児の保育については、保育者が一人ひとりの気持ちを汲み取り関わりの中で安心して過ごせるように応答的対応を心掛けました。幼児についても、乳児期からの積み重ねを大切に、つながりのある保育の中で自らやってみたいと感じ表現することのできる環境を整え援助したり、様々な関わりの中で他者を受け入れつつ自分を大切にすることを育てたりと、協調性や協同性を育むように保育を展開しました。

また、発達に支援の必要な園児や家庭支援を必要とする保護者対応も多く、家庭状況や対応などについて職員間で情報を共有し、ケース会議や研修を重ね、職員のスキルアップを図り、関係機関と連携を取りながら各年齢クラスでの育ちを支えてきました。一時保育児童も日々のクラスの中で生活するため、お互いを理解し仲間として過ごすことができるよう保育者が仲立ちとなり関わりを支えるように努めました。

### 豊かな感性を育む取り組み

園庭での外遊びや散歩先での遊びを体感する中で、自然の移り変わりを感じたり、目で見て肌やにおいを感じられたりする体験を大切にしました。遊びや生活の中で自ら発見し、試そうとする力の芽を育めるような環境づくりを行い、遊びを通して子ども達から共感・共有を育めるよう安心できる人間関係の構築を心掛け、保育の質を向上し、豊かな感性を育めるようにしました。

食育については、野菜の栽培や調理保育を行い、野菜の成長を実感できるようにし、調理を行う経験を通して「食」への興味関心が持てるよう工夫し行ってきました。

行事については、子ども達のやりたい気持ちを尊重し、作り上げ、取り組む過程での子どもの成長を大切にすることができました。

室内環境については、それぞれのクラスのコーナー作りのあり方を職場内研修で話し合い、より良い環境づくりを行いました。しかし、園庭遊びの環境作りについては、課題も多く来年度の検討事項としています。また、保育園の建物も老朽化し古いイメージとならないように、玄関や階段などの装飾を自然や季節を感じられるようにレイアウトしたり、子ども達の製作物を置くなど工夫し送迎時の親子での会話が増えたり、リラックスできる環境作りを行いました。

### 保護者支援・地域支援

園と家庭をつなぐコミュニケーションアプリ「ハグノート」を活用した日々のやり取りや送迎時の対話、電話連絡、個別面談などを通し、子ども達の姿や成長を丁寧に伝え、保護者の子育てと子ども達の主体的な育ちを支えてきました。

保育参加については、時間を延ばし2時間から3時間程度行う事が出来ました。76人の保護者の方の参加があり、幼児クラスでは絵本の読み聞かせも復活し活気ある様子が見られました。

インスタグラムを開設し、日々の子どもたちの様子や保育園の取り組みを毎週投稿することで更に保育園を知ってもらえるよう努めました。また、今年度から保護者の負担軽減の取り組みとして導入したオムツのサブスクと布団のレンタルについては、今後も継続していきます。

また、実習生の受け入れを行ったほか、新型コロナウイルス感染症の影響で休止していた中学生の職業体験やボランティアの受け入れを再開しました。地域の方が参加できる「遊ぼう会」も少しずつ参加者が



増え、保育園を知ってもらい園児と交流を図ることが出来ました。

## 2 主な事業の実施状況

### (1) 主な年間事業

月例事業	火災避難訓練(毎月)、地震避難訓練(隔月)、防犯訓練(年3回)、布団乾燥、誕生会、市内保育園関係会議(事業者連絡会議、施設長会議、看護業務会議、栄養士会議、幼保小連絡協議会、心の教育推進委員会会議)、園だより、クラスだより、献立、保健だよりの発行
4月	0～5歳児懇談会
5月	幼児クラス保育参加(5/15～7/28)
6月	夜までいっくえん(5歳児)、消防署立ち合い訓練
7月	保育園運営委員会、じゃがいもほり
8月	ほんちょうフェスタ、大規模地震を想定した児童引き取り訓練
9月	おじいちゃんおばあちゃんの日(4・5歳児がプレゼントを渡す)、4、5歳児個別面談
10月	運動会(4・5歳児入れ替え制 親子)、3歳児ミニ運動会(児童のみ) 乳児クラス保育参加(10/23～12/12)
11月	やきいも会、5歳児クラス懇談会、3歳児個別面談
12月	音楽あそび会
1月	もちつき、味噌作り(4歳児)
2月	節分、保育園運営委員会、0～4歳児クラス懇談会
3月	ひなまつり、本町小学校との交流(5歳児)、本町小学校学童クラブとの交流 5歳児思い出遠足、入園説明会、卒園式、お別れ会

### (2) 児童の健康管理

- ・ 身体測定(毎月)、内科健診(6・11月)、歯科検診(6月)、尿検査(11月)
- ・ 乳児健診(5・7・9・11・1・3月)
- ・ 手洗い指導、感染症予防指導(看護師)

### (3) 地域交流事業

- ・ 和光市図書館団体貸し出し利用(年2回・各100冊)
- ・ 絵本の読み聞かせボランティア「和光絵本とお話の会」(5月～2月、月1回来園)
- ・ 和光市心の推進委員会あいさつ運動(職員と5歳児)  
※市内小中学校との共同事業として各学期の開始時期に1週間ずつ実施

### (4) 特別保育事業

- ・ 保育参観/個別面談 76人の参加  
3・4・5歳児(5/15～7/28)、0・1・2歳児(10/23～12/12)

### (5) 実習生の受入れ

- ・ 保育士実習生 4人 ・ 看護師実習 2人 ・ 司法研修生 2人

### (6) 職員研修

- ・ 職場内研修  
「配慮を必要とする子の対応について」(講師:シャインキッズ 井上綾乃氏)
- ・ 外部派遣研修(動画配信やオンライン研修の利用も含む)  
医療的ケア児等支援者養成研修、応募者が絶えない保育園づくり、ハラスメント防止研修  
保育所における児童虐待防止、初任保育所長研修、医療的ケア児の理解と対応  
子どもの人権を尊重する保育、職場内コミュニケーション研修、小学校との接続連携

保育者の為のコンプライアンス、新任職員フォローアップ研修、ビジネスマナー研修  
初任者キャリアパス研修・自信アップ研修

・ 和光市主催保育士研修

「実践記録から読み解く、子どもと保育士の対話的關係」

「発達支援スキルアッププログラム」

「対話と共感の幼児教育論」全体研修として 4名参加

「子どもを尊重した0・1・2歳児の保育～『あたりまえ』の振り返り」

2～3名ずつ、年5回参加

・ 法人職員全体研修

「アンダーマネジメントについて」DVD研修

### 3 利用状況

#### (1) 児童在籍状況 (月初日)

年間開園日数 293日 (うち土曜日 50日)

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	6	6	6	6	6	6	6	6	5	6	6	6
1歳児	9	9	9	9	9	8	8	8	8	8	8	8
2歳児	12	12	13	13	14	14	14	14	14	14	14	14
3歳児	19	19	19	19	20	19	19	19	20	20	20	20
4歳児	17	17	16	16	18	18	18	18	18	18	18	18
5歳児	20	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19
合計	83	82	82	82	86	84	84	84	84	85	85	85

うちチャレンジド/2歳児1人・3歳児2人・4歳児1人・5歳児1人

平均利用率	77.3%	土曜日平均利用者数	5.6人
-------	-------	-----------	------

※入園前の事前見学、問い合わせ 63人

※家庭の都合による退園 4月 1人(5歳児) 5月 1人(4歳児)

8月 2人(1歳児、3歳児) 11月 1人(0歳児)

※途中入園 6月 1人(2歳児) 8月 4人(2歳児、3歳児、4歳児2人)

12月 1人(3歳児) 1月 1人(0歳児)

#### (2) 育成一時保育事業

発達の遅れに心配のあるお子さんを持つ保護者を対象に、リフレッシュなどの理由で一時的にお子さんを預かり、保育する事業として和光市から委託され実施。

利用定員は1日3人まで、利用時間は平日の8:30～16:30、延長時間16:30～17:00。

利用料金は、4時間以内1,200円、その後1時間につき250円加算。延長時間利用料金200円。

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録人数	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	20	243
利用延人数	42	36	37	39	45	29	36	34	38	44	46	53	479
平均利用率	65.7%												

# 令和5年度 和光市にいくら保育園事業報告

## 1 事業の概要

### 安心で安全な保育環境を提供する

令和5年度は途中の転居等を含め入れ替わりはありましたが、在籍者数は定員を下回る106人でした。新型コロナウイルス感染症について、夏に職員2人、冬に児童4人が罹患しましたが、大事には至らず回復しました。その他、感染性胃腸炎やインフルエンザに罹患した児童が複数おり、年間利用率は84.5%でした。消毒や換気などは5月以降も適宜実施し、看護師による手洗い・うがい指導や熱中症対策のお話しなど、子ども達にも意識的に予防することを伝え、できる限り安全な生活環境の維持を図りました。

保育内容については、3歳未満児はより個別的な配慮をし、一人ひとりの意欲やペースに合わせ、適度に戸外活動や休憩等を取り入れることで安定した保育を心がけました。また、園庭では幼児の遊びを模倣する姿も見られ、関わりや遊びの工夫が広がりました。幼児異年齢グループは、年下児や途中入所児を受け入れ、日々の活動内容や思い出などを輪になって話し合う経験を積み重ねました。行事等も自分達で企画しやりたいことを実現する中に、3歳未満児や保護者を巻き込む形で実施できました。

### 健康な体作りをしていく

令和5年度も、園庭や近隣への散歩など戸外活動の機会を適宜設けました。コロナ以外の感染症については、感染性胃腸炎が8月に7人、インフルエンザが10月と12月合わせて6人が罹患しました。また、10月から3月にかけてアタマジラミが月に数名ずつ、計10人罹患し、通院や家庭での対策のほか、園でもできる限りの対応をしました。

調理保育や配膳活動など食育の取り組みについては、取り組む際にマスクやエプロン、三角巾等を身につけ、栄養士指導のもと「梅干し作り」や「味噌作り」その他自分達で考えたメニューの調理体験をしました。また、食材への興味を持つ機会としておやつに提供する「トウモロコシ」「そらまめ」の皮やさやむき、また当番制で食材を四食群に分けて掲示することなどを行い、体を丈夫にする食べ物について知る機会を設けました。

### 子どもの成長発達について保護者との共通理解を深める

保護者懇談会を年度初めと終わりに設定し、写真や動画なども活用して、各年齢やグループごとのねらいや過ごし方、日頃の様子などについて知っていただきました。また、個別面談は、日頃の保育の様子を見たり保育士体験していただく「保育参加（のべ91人が参加）」時に実施し、参加出来ない方とは後日個別に時間を設けました。その他、「写真付きエピソード記録（ドキュメンテーション）」や写真販売の他に動画配信をし、日々の活動の様子を伝える機会を増やしたことで、保護者に好評を得ています。

チャレンジド保育対象児は5人在籍し、配慮の必要な事項や留意する点など、個別の支援についてそれぞれの保護者と確認しました。また保育所等訪問を受け入れるなど関係機関との協力や情報共有を丁寧に行いました。

地域の子育て世帯向けの支援事業である園開放事業（あそぼう会）は、園庭で遊ぶ形で行いました。入園前の園見学は1日に2組までとし、子どもの主体的な活動を積極的に支援する保育内容についてご理解いただけるよう丁寧に説明し見学していただきました。年間を通して44人の見学者がありました。

## 2 主な事業の実施状況

### (1) 主な年間事業

月例事業	火災避難訓練（毎月）、地震避難訓練（隔月）、防犯訓練（3回）、 布団乾燥、誕生会 市内保育園関係会議（事業者連絡会議、看護業務会議、栄養士会議、幼保小 連絡協議会、心の教育推進委員会） 園だより、クラス・グループだより、献立表、保健だよりの発行
4月	進級式 幼児グループ・クラス懇談会 園外保育（5歳児）
5月	園外保育（4歳児）、水難訓練
6月	保育園運営委員会
7月	夜まで保育園（5歳児）
8月	大規模地震を想定した児童引取り訓練、炊き出し訓練
10月	運動会（4、5歳児のみ園庭で実施）、個別面談、水難訓練
11月	おばけ屋敷（5歳児企画、平日、時間差で全園児参加） 個別面談、火災避難訓練（消防署立ち合い消火訓練）
12月	個別面談 ゆず湯（冬至・足湯ごっこ）
1月	保育園運営委員会、個別面談
3月	思い出遠足（5歳児）、卒園式、入園説明会、お別れ会

### (2) 児童の健康管理

- ・ 身体測定（毎月）、内科健診（5月、11月）、尿検査（11月）  
乳児健診（5月を除いた奇数月）
- ・ 歯科検診 6月
- ・ 手洗い・うがい指導、感染症予防指導（看護師）

### (3) 地域交流事業

- ・ 園開放日（にこにこデー）6月～2月 毎週火曜日
- ・ 和光市図書館団体貸し出し利用（年2回・各100冊）
- ・ 絵本の読み聞かせ ボランティア「和光絵本とお話の会」9月から実施 計5回
- ・ みつばすみれ学園2歳児との交流 6月から実施 計5回
- ・ 大和中学校3年生（家庭科） 12月に実施 計3回
- ・ ほんちょう保育園5歳児 1回
- ・ 心の教育推進活動あいさつ運動  
※市内小中学校との共同事業として各学期の開始時期に1週間ずつ実施

### (4) 特別保育事業

- ・ 年末保育（12月29日 2人利用、30日 1人利用）
- ・ 保育参加（6/1～1/31まで実施）  
延べ参加人数91人

### (5) 実習生の受け入れ

- ・ 保育士実習 3校・4人
- ・ 看護師実習 3人
- ・ 司法研修生 2人

## (6) 職員研修

- ・ 職場内研修
  - 子どもを尊重する保育・人権擁護、虐待防止について
  - エピソード記録について
- ・ 外部派遣研修（動画配信やオンライン研修の利用も含む）
  - 中堅職員・チームリーダー研修（県社協主催）、発達支援の実践、乳児保育、等
- ・ 和光市主催研修「対話と共感の幼児教育論」「事例検討会」「衛生管理について」など
- ・ 和光市主催保育士ゼミ研修
  - 「子どもを尊重した0，1，2歳児の保育～「あたりまえ」の振り返り～」
  - 「発達支援スキルアッププログラム」
  - 「実践記録から読み解く、子どもと保育士の対話的關係」2～3名ずつ年5回参加
- ・ 法人職員全体研修「アンガーマネジメントについて」DVD研修

## 3 利用状況(月初日在籍児童数)

年間開園日数 293日（うち土曜日 50日）

月 対象	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	5年 1月	2月	3月
0歳児	7	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
1歳児	15	15	14	15	15	15	15	15	15	15	15	15
2歳児	17	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
3歳児	23	23	23	23	23	22	22	22	22	22	22	22
4歳児	23	23	23	23	23	22	23	23	23	23	23	23
5歳児	21	21	21	21	20	20	20	20	20	20	20	20
計	106	108	107	108	107	105	106	106	106	106	106	106

うち育成児童／1歳児1人・3歳児1人・4歳児2人・5歳児1人

平均利用率	：	84.5%	土曜日平均利用者数	：	13.2人
-------	---	-------	-----------	---	-------

※土曜日平均利用者数には運動会等の行事参加者が含まれる

※入園前の事前見学、問い合わせ 44人

※家庭の都合による退園 5月 1人（1歳児） 7月 1人（5歳児）

8月 2人（3歳児、4歳児）

※途中入園 5月 2人（0歳児、2歳児） 7月 1人（1歳児）

10月 1人（4歳児）

# 令和5年度 朝光苑事業報告

## 1 事業の概要

### 利用される施設となる(利用率の向上)

#### 利用率の目標及び結果

① 介護老人福祉施設	(目標) 94%	(結果) 74.9%
② 短期入所生活介護	(目標) 86%	(結果) 73.3%
③ デイサービスセンター	(目標) 85%	(結果) 74.9%
④ 居宅介護支援センター	(目標) 105件/月	(結果) 95.4件/月
⑤ 地域包括支援センター	(目標) 140件/月	(結果) 133.6件/月

#### ① 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

特別養護老人ホームでは新規入所者が15人に対し退所者は28人と上回り、年間利用率は74.9%にて前年度比較では13.7ポイントの減となりました。この背景には延べ入院者が前年度の約1.8倍となったこと、コロナ禍以降においても入居申し込み者が一時的に利用している周辺施設等の罹患状況により入所手続きが遅延したケースがあったこと、職員の欠員等による勤務配置数が不足し担当業務が遅延したこと等に加え、令和5年12月には昨年度に続く2回目のクラスター発生があり、収束以降も運営体制の立て直しに時間を要したことが一因と考えられます。

入所施設における生活及び医療ニーズは多様化しており、体調不良による通院回数増のほか、看取り介護実施での退所数が微増しているなど入居者の状態が全体的に重度化しているなど、特養の環境は医療病床に類似してきている実態もありますが、公設施設ならではの安心・安全な生活支援と運営をアピールし、入所待機者が早期に利用出来る体制づくり等を進め、利用率の向上につなげます。

#### ② 短期入所生活介護（ショートステイ）

ショートステイ事業ではコロナ感染予防対策を継続してきましたが、利用中の罹患者は2名を数え、また特養のクラスター発生に伴うショートステイ事業閉鎖後の一時的な利用率低下が見られました。クラスター発生前までは徐々に利用者数が増えていたこともあり、年間利用率は前年度と比較し、3ポイントの増となりました。なお、空床を利用した障害者短期入所事業の利用者数は年間延べ9人となり、新規利用が見られていない状況が続いています。

今後も基本的な感染予防対策を継続するとともに、居宅介護支援センター等への空き情報の提供や、緊急利用受入れ等の体制整備を図り、利用率の回復を目指します。

#### ③ デイサービスセンター

デイサービスセンターでは感染予防対策を継続しながら、特養クラスター発生時も利用者の安全確保を前提に事業を継続し、アフターコロナへの転換を意識した体制作りを行いました。日中活動の充実を基盤に、当日欠席分に対して別曜日利用者の臨時利用促進を行った他、各居宅支援事業所との連携により新規利用が増えました。年間利用率は前年度より7.5ポイント増の74.9%ですが、令和6年3月の月間利用率は85.3%の利用状況となり、前年度3月時点との比較では17.9ポイントの増加となりました。今後も機能訓練や自立支援・重度化防止につながる取り組みを継続し、外出活動の再開を視野に入れ、地域で選ばれるセンターを目指します。



大規模災害への対応については、利用者の安全確保を優先し、災害への対応力を強化していくための定期的な研修と訓練を重ねてきました。令和5年9月には朝霞市主催の福祉避難所移送訓練として、市内の特養と老人保健施設が参集し、当苑に実際に避難者を移送するシミュレーションを行いました。有事の際についても利用者が安定的・継続的にサービスを受けられるよう、職員の確保をはじめ、関係機関及び地域住民との連携を構築するとともに、今後も入念な対応策を検討していきます。

### 重度化防止と生活の質を向上する取組みの実践

科学的介護(※LIFE)導入以降は、介護データ収集と記録物のICT化による時間短縮が図られており、現場業務では効果を発揮しています。収集されたデータは利用者の全体像を把握する指標になっていますが、本来の目的はそのデータを検証し、重度化防止等に繋げる対策を講ずることであり、その情報共有等には未だ至っていない状態です。従来までの事後対処型による介護から、科学的根拠に基づく介護支援への移行について、今後も対象職員の意識向上を図っていきます。一方で、利用者の傾向は看取り介護への移行対象が微増しており、カンファレンスや日々のミーティングにおいて必要な介護支援を検討していくと共に、終末期ケアの充実が今後の課題となっています。

また、身体状況や利用者本人の希望などを考慮した個別プログラムの実践に取り組んでいますが、今までの活動及び行動制限による意欲の喪失、身体機能の低下が顕著なケースも見られます。諸活動や関わりを再検討し、ベッドや居室から離れて他の人達との交流を増やし、各種行事・レクリエーションなどを取り入れ、心身の機能保持と施設での生活がより豊かになるよう支援していきます。

#### ※LIFE(科学的介護情報システム)

介護サービス利用者の状態や介護施設で行っているケアの計画、内容等を入力するとインターネットを通じて厚生労働省へ送信し、入力内容が分析されて当該施設にフィードバックされる情報システム

## 2 各事業の実施状況

### (1) 主な年間事業

各種委員会などについては概ね予定通り実施しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により入居者・利用者に季節感を感じてもらえるような外出活動やボランティア参加型のレクリエーション活動などは中止となりました。

区分	介護老人福祉施設(特養)	デイサービス	その他
月例事業	誕生会、注文買物、理髪、口腔衛生指導(以上は月1回) 嘱託医健診(内科/週1回、精神科/月2回)、理学療法(月2回)、特養ラインカンファレンス(年28回)、新入所前カンファレンス(年15回)、優先入所検討委員会(月1回)、身体拘束廃止委員会(年4回)、感染症対策委員会(年4回)、臨時感染症対策委員会(年12回)、給食委員会(年4回)、痰吸引安全委員会(年4回)、褥瘡対策検討委員会(年4回)、事故防止対策委員会(年4回)	誕生会、PTリハビリ、体重測定、デイ定例会議(月1回)、事故防止対策委員会(年12回)、感染症対策委員会(年4回)	朝光苑運営会議(月1回)、衛生委員会(月1回)、苑だより発行(年4回)、地域包括定例会議(月1回)、居宅定例会議(月1回)



区分	介護老人福祉施設（特養）	デイサービス	その他
4月	料理クラブ、お花見外気浴	お花見散歩	
5月	菖蒲湯、端午の節句、園芸活動(スイカ)、母の日 料理クラブ、ボウリング	菖蒲湯 園芸活動 さくらんぼ狩り	一斉緊急メール訓練、生活習慣病 健診
6月	料理クラブ、父の日	梅ジュース作り	全体職員会議(6/9) 苦情解決委員会(6/16)
7月	七夕飾り、スイカ割り ※コロナワクチン接種(6回目：7/14)	スイカ割り	火災避難訓練 埼玉県実地指 導監査(特養・デイ・ショート)
8月	料理クラブ(かき氷)、苑庭花火鑑賞	かき氷 野菜収穫	
9月	朝光苑まつり(中止)、ぶどう狩り(食堂内) 敬老祝いレクリエーション 胸部レントゲン撮影	フラワーアレンジメント	ストレスチェック、一斉緊急メール 訓練、地震避難訓練 福祉避難 所移送訓練
10月	料理クラブ、ミニ運動会、歯科検診		夜間火災避難訓練
11月	秋祭りレクリエーション 料理クラブ 朝霞市彩夏祭花火鑑賞(8月延期分)	サンマ焼き	一斉緊急メール訓練 利用者アンケート実施 職員インフルエンザ接種
12月	インフルエンザ予防接種、年末お楽しみ会 ※12/11以降のクラスター発生～行事を一時中断 料理クラブ(中止)、イルミネーション鑑賞(中止)	年末お楽しみ会、ゆず湯	
1月	正月遊び、書初め、絵馬づくり(中止)、料理クラブ	餅つき	特養全館消毒(1/12) 地震避難訓練
2月	料理クラブ、豆まき	豆まき	全体職員会議(書面) 職員腰部検診
3月	ひな祭り ※コロナワクチン接種(7回目：3/14)	フラワーアレンジメント	一斉緊急メール訓練

## (2) 利用状況

朝光苑各事業の令和6年3月31日現在の利用状況は以下のとおりです。

### ①介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

(ア) 在籍状況等（単位：人、％）

(定員 75 人)

月 人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
当月初	65	65	64	65	64	64	64	61	60	57	54	52	—
入所者	2	2	3	0	2	1	0	1	0	1	1	2	15
退所者	2	3	2	1	2	1	3	2	3	4	3	2	28
(内、看取り)	1	0	1	1	1	1	1	1	2	3	2	1	15
当月末	65	64	65	64	64	64	61	60	57	54	52	52	—
月別利用率	82.6	81.0	85.1	83.7	82.5	80.8	75.4	73.2	68.6	62.7	60.4	62.7	74.9

※（目標利用率：94％・年間利用率：74.9％）

## (イ) 男女別構成 (年度末)

区分	男	女	計
人数	8人	44人	52人
割合	15.4%	84.6%	100%

## (ウ) 平均要介護度 (四捨五入)

※平均要介護度：3.9

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	
性別	男	3.5	3.5	3.5	3.6	3.6	3.5	3.5	3.5	3.6	3.3	3.3	3.4	3.5
	女	3.9	3.9	3.9	3.9	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.9	4.0
平均	3.8	3.8	3.8	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9

## (エ) 年齢別構成 (年度末)

※平均年齢：86.8歳

年齢	60～69歳	70～79歳	80～89歳	90～99歳	100歳以上	計
人数	1人	8人	22人	19人	2人	52人
割合	1.9%	15.5%	42.3%	36.5%	3.8%	100%

## (オ) 在苑期間別構成 (年度末)

※平均在苑期間：3年6か月

期間	6か月未満	6か月～1年未満	1年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～20年未満	20年以上	計
人数 (人)	5人	7人	15人	15人	7人	2人	1人	52人
割合 (%)	9.6%	13.5%	28.8%	28.8%	13.5%	3.9%	1.9%	100%

## ②短期入所生活介護事業 (ショートステイ)

## (ア) 高齢者・障害者別利用況等 (単位：人、%)

(定員14人)

月 人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
	利用者	高齢者短期	29	28	29	26	32	29	32	34	26	28	29	28
	介護予防	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	—
	障害者短期	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	—
延べ 人数	高齢者短期	294	320	308	285	342	329	375	405	229	235	308	310	3,740
	介護予防	0	2	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	5
	障害者短期	0	0	0	3	0	3	0	0	0	0	3	0	9
	計	294	322	308	288	342	332	375	408	229	235	311	310	3,754
月別利用率	70.0	74.2	73.3	66.4	78.8	79.0	86.4	97.1	52.8	54.1	76.6	71.4	73.3	

※1日平均利用者数：10.3人(目標：利用率86%・年間利用率：73.3%)

### ③デイサービスセンター事業

(ア) 利用状況等 (単位：人、%) 開所日/298日

(定員 25 人)

月 人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用契約者	71	71	70	71	72	73	75	77	75	78	75	79	—
内、通所相当サービス	24	23	22	21	17	18	20	20	21	21	21	22	—
延べ利用者数	428	416	441	458	471	459	510	478	452	451	482	533	5,579
内、通所相当サービス	118	103	102	110	94	107	117	107	103	101	106	113	1,281
月別利用率	71.3	69.3	67.8	70.5	72.5	73.4	78.5	79.7	75.3	75.2	80.3	85.3	74.9

※1日平均利用者数/18.7人 (目標：利用率85.0%・平均利用率：74.9%)

### ④居宅介護支援センター事業

(ア) ケアプラン作成件数 (単位：件)

月 件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
居宅介護支援件数	80	84	88	87	90	91	93	94	101	94	102	97	1,101
介護予防支援件数	3	3	3	4	4	4	4	4	5	5	3	2	44
認定調査件数	0	0	0	2	0	2	2	2	2	2	2	0	14

※(目標件数：105件/月・月平均：95.4件)

### ⑤地域包括支援センター

(ア) ケアプラン作成件数 (単位：件)

月 件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護予防支援件数	63	60	69	63	67	67	68	70	73	68	67	67	802
介護予防ケアマネジメント	68	65	65	64	62	68	68	68	66	62	55	58	769
訪問型及び通所型サービスC	7	0	0	1	7	4	0	4	1	7	0	1	32
住宅改修理由書作成件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※介護予防支援総件数(目標：140件/月・月平均：133.6件)

(イ) 包括支援センター業務

業務	主な実績等
総合相談・支援業務	・総合業務 (11,034件) ・介護相談会 (14回) ・市民向け講座 (8回 174人参加)
権利擁護業務	・特殊詐欺被害防止講座 (1回)
包括的・継続的ケアマネジメント業務	・ケアマネカフェ (4回)
介護予防ケアマネジメント業務	・要支援者のケアプラン作成(第1号介護予防支援事業)
在宅医療・介護連携推進業務	・医療リスト作成 ・在宅医療・介護連携推進事業に係る多職種合同研修 (1回)
生活支援体制の整備業務	・生活支援コーディネーター配置 (1名) ・生活支援コーディネーター会議(12回)

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域民生委員情報交換(12回)</li> <li>・よろず屋(第2層協議体)(12回)</li> <li>・サロンよろず屋</li> </ul>
認知症施策の推進業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症初期集中支援チーム員会議(12回)</li> <li>・認知症地域支援推進員連絡会(12回)</li> <li>・認知症サポーター養成講座(1回 25人参加)</li> <li>・オレンジカフェ(11回 173人参加)</li> </ul>
地域ケア会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市主催地域ケア会議(6回)</li> <li>・市主催地域ケア会議事前会議(3回)</li> <li>・包括主催地域ケア会議(4回)</li> </ul>
一般介護予防事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康太極拳講座(全12回)</li> <li>・ラジオ体操「実施区域：幸町・栄町・膝折町」 (132回 1,440人参加)</li> <li>・シニアメイク、フレイルチェック講座(2回)</li> <li>・介護予防教室(2回)</li> <li>・コグニサイズ体験講座(1回)</li> <li>・AIを活用した身体機能チェック、フレイルチェック講座(1回)</li> </ul>

### (3) 外部協力・援助等

新型コロナウイルス感染症対策により、ボランティア活動及び地域交流等については年間を通し中止としました。

### (4) 実習生の受入れ

文京学院大学(1人) ウェルネス歯科衛生専門学校(29人) 朝霞准看護学校(14人) 介護労働安定センター(1人) 中学生職業体験(2人)	合計 47 人 (延べ 130 日)
---	--------------------

※新型コロナウイルス感染症対策により実習受け入れ数を制限しました。

### (5) 面会者数

区分	延べ数	備考
来苑による面会	227人	R5. 4. 1～6. 30迄はLINEのみ実施 R5. 7. 1～対面面会を再開
LINEによる面会	25回	R5. 12. 11～R6. 1. 25 クラスター発生により中断 R6. 1. 26～面会再開

※新型コロナウイルス感染症対策により来苑による面会時の人数制限を実施しました。

## (6) 人材育成

(ア)外部研修参加／主催：埼玉県社会福祉協議会・老人福祉施設協議会等

管理部・施設サービス部	在宅サポート部
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 初任者キャリアパス研修(5名)</li> <li>・ 中堅職員キャリアパス研修(3名)</li> <li>・ 新任職員フォローアップ研修(2名)</li> <li>・ チームリーダーキャリアパス研修</li> <li>・ 管理者キャリアパス研修</li> <li>・ 人材育成担当者研修</li> <li>・ ビジネスマナー講習会</li> <li>・ 埼玉県老社協 施設長研修会</li> <li>・ 繰り返し学ぶ感染予防基礎研修</li> <li>・ 財務管理者研修</li> <li>・ 高齢者の看取りケア研修</li> <li>・ 介護職員のための医療、薬の基礎知識</li> <li>・ 新型コロナウイルス感染症対策研修会</li> <li>・ 社会福祉士実習指導者講習会</li> <li>・ 建物維持管理マニュアル説明会</li> <li>・ 認知症介護基礎研修</li> <li>・ 安全運転管理者研修</li> <li>・ 福祉現場に必要な法律の基礎知識研修</li> <li>・ 福祉施設防火安全講習会</li> <li>・ 高齢者虐待防止研修</li> <li>・ 介護支援専門員更新研修</li> <li>・ 成年後見制度研修会、相談会</li> <li>・ 朝霞市企業人権教育研修会</li> <li>・ 地球温暖化対策講演会</li> <li>・ 介護職員処遇改善加算一本化関連研修</li> <li>・ 福祉避難所担当者会議及び合同訓練</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型コロナウイルス感染症対策研修会</li> <li>・ 認知症介護実践研修</li> <li>・ 認知症介護基礎研修</li> <li>・ 障害者差別解消法、日本手話言語条例関連研修</li> <li>・ 埼玉県老社協ヘルパース部会研修会</li> <li>・ 介護支援専門員更新研修</li> <li>・ 認定調査委員現任研修</li> <li>・ 主任介護支援専門員レベルアップ研修</li> <li>・ 介護支援専門員レベルアップ研修</li> <li>・ 実習指導者研修会</li> <li>・ 虐待防止研修</li> <li>・ 認知症地域支援推進員研修</li> <li>・ 虐待対応専門研修</li> <li>・ 終活セミナー講座</li> <li>・ 福祉用具研修会</li> <li>・ ヤングケアラー支援のための教育、福祉合同研修会</li> <li>・ ヤングケアラー支援者研修</li> <li>・ 福祉現場に必要な法律の基礎知識研修</li> <li>・ ACPの為の共有意思決定支援研修会</li> <li>・ 適切なケアマネジメント手法基礎編研修</li> <li>・ 介護予防事業研修</li> <li>・ 認知症疾患医療連携協議会</li> <li>・ 生活支援コーディネーター行政担当者視察研修</li> <li>・ 朝霞保健所地域精神保健推進事業研修会</li> <li>・ 朝霞市在宅医療、介護連携推進事業、他職種合同研修会</li> </ul>

(イ) 内部研修状況

<p>施設部(特養・短期入所)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人情報/プライバシー保護について(4/14. 4/19. 5/17)</li> <li>・ 誤薬の予防について/ノロウイルス吐物処理(動画視聴：4/14. 4/19. 5/17)</li> <li>・ 看取り介護研修(6/19. 6/21. 7/19) ・ 入浴事故防止(浴室内実地研修：7/19. 8/20)</li> <li>・ 虐待防止、身体拘束関連研修(8/16. 8/17. 9/20) ・ 感染症について(10/20. 11/15)</li> <li>・ 認知症ケア関連(1/17) ・ 事故防止/褥瘡予防(2/14. 2/16. 3/13) ・ 身体拘束関連(3/4)</li> </ul>
<p>デイサービスセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 倫理及び法令遵守に関する研修(4/25) ・ 食中毒の予防(5/30)</li> <li>・ インフルエンザ関連研修(8/29) ・ 認知症ケアについて(9/26) ・ 感染症関連(10/31)</li> </ul>

- ・個人情報、プライバシー保護について(11/28) ・身体拘束関連(1/29)
- ・介護予防について(2/27) ・虐待防止関連(3/21)

居宅介護支援センター・地域包括支援センター

- ・職業倫理と法令遵守について(4/25) ・感染症予防研修(6/9)
- ・高齢者虐待について(6/9) ・BCPについて(6/9) ・ハラスメントについて(6/9)
- ・ACP(※)関連ケアプラン作成(7/25) ・プライバシー保護/個人情報取り扱い(9/12)
- ・適切なケアマネジメントについて(1/9)
- ・困難事例検討会(年4回：包括会議内) ・人脈づくりについて(4/5)
- ・精神科医療、入院の制度、23条通報の運用について(6/6) ・虐待防止研修(9/6)

※ACP「アドバンスケアプランニング」=年齢と病期にかかわらず、成人患者と、価値、人生の目標、将来の医療に関する望みを理解し共有し合うプロセスのこと。

(ウ)資格取得状況

介護福祉士(6名) 終末期ケア専門士(1名) 医療的ケア教員講習会修了(1名)